

リーダー記事 No.107

「生物多様性」ってなんだろう

2011年から2020年までの10年間は、国連の定めた「国連生物多様性の10年」だそうです。生物多様性がかってないスピードで失われ、現在は地球の歴史上6度目の大量絶滅の危機と言われたりしています。

私たちは自然豊かな地域に住み、つい、「絶滅とは無縁。」とってしまいそうではありませんか？しかし人間の生活は多くの部分で生態系サービスに依存しており、それが失われそうだと聞けば、無関心ではられません。ましてや多様ないのちをつないでいくには、ひとりひとりの行動が重要であると聞けばなおさらです。

そもそも「生物多様性」とはなんぞや？と調べてみると、環境省のウェブサイト(<http://www.biodic.go.jp/biodiversity/about/about.html>)には以下の説明がありました。

『生物多様性とは、生きものたちの豊かな個性とつながりのこと。地球上の生きものは40億年という長い歴史の中で、さまざまな環境に適応して進化し、3,000万種ともいわれる多様な生きものが生まれました。これらの生命は一つひとつに個性があり、全て直接に、間接的に支えあって生きています。生物多様性条約では、生態系の多様性・種の多様性・遺伝子の多様性という3つのレベルで多様性があるとしています。』



3つのレベルの多様性

生態系の多様性

森林、里地里山、河川、湿原、干潟、サンゴ礁などいろいろなタイプの自然があります。

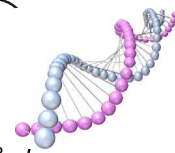
種の多様性

動植物から細菌などの微生物にいたるまで、いろいろな生きものがいます。



遺伝子の多様性

同じ種でも異なる遺伝子を持つことにより、形や模様、生態などに多様な個性があります。



古賀市では今年度「生物多様性地域戦略」の策定が予定されています。このプランでは、地域の生物多様性の特色を捉え、生物多様性の保全と持続可能な利用にいかに関与できるかを整理されるものと思われます。私たちの暮らしに欠かせない生態系サービスですから、この視点で地域戦略をとらえることで、地域課題解決の糸口とも繋がっていくかもしれません。関心を持って古賀市の策定を待ちたいと思います。

* 福津市では、H29年3月に「生物多様性ふくつプラン」の策定がされています。

しろくまプロジェクト (H25.4~H30.3) を終えて

平成25年4月、仮認定NPO法人認定を契機に、学校での環境教室を寄付で運用するしろくまプロジェクトを開始しました。5年間の活動を経て、平成30年3月に無事プロジェクトを終了しましたので、活動を振り返りまとめてみました。

プロジェクトでの主な活動は、①小学校への出前教室(しろくま教室)、②運営費用としての寄付募集、③支援者と取り組む教具開発、④報告会(しろくまカフェ)です。

①しろくま教室 実施：78回 参加児童：5,860人 担任先生：187人

福岡県内におよそ800校の小学校があります。その約5%にあたる4地区40校での実施を目標設定しましたが、筑後地区を除く3地区からの依頼、達成率は95%とわずかに目標に届きませんでした。初年度は募集に応じる学校がなく苦戦しましたが、年を追うごとに依頼が増え定着してきたように思います。今後は地元を中心に募集案内し継続していきます。

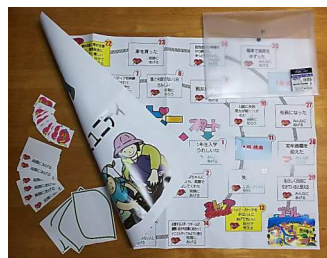


②寄付 件数：207件 総額：2,298千円

特定の事業に対して寄付募集をするのは任意団体での活動以来のことです。ましてや俗に言う釣り銭寄付ではなく、1,000円単位の寄付となると、募集活動への心理的障壁は高く、まずはメンバーの意識改革と必要性の理論立てが不可欠でした。この経緯がなければ認定NPO法人へとは進めなかったと思います。今後はエコけん全体の活動を支援下さる賛助会員を広げる活動として継続していきます。

③教材開発

出前講座ではいつも内容に合わせて、都度教材を開発するのですが、時間をかけた大物教具として「ぐるぐるアースすごろく」「水タワー」そして「ハッピーすごろく」等を作成しました。その改善には、しろくまカフェでもご意見をいただき関係者とともに仕上げていきました。無謀にも福岡市天神で試行会参加を呼びかけたチラシ配りをしたのも懐かしい思い出です。



④しろくまカフェ 実施：5回

学校関係者や支援者等を招待し、毎年2月に開催しました。活動の報告に加え、ミニしろくま教室を体験いただいたり、様々な立場から教具開発の協力をいただきました。ご参加いただいた皆さまはもちろん、全回参加いただいたN様には紙面を借りて深くお礼申し上げます。



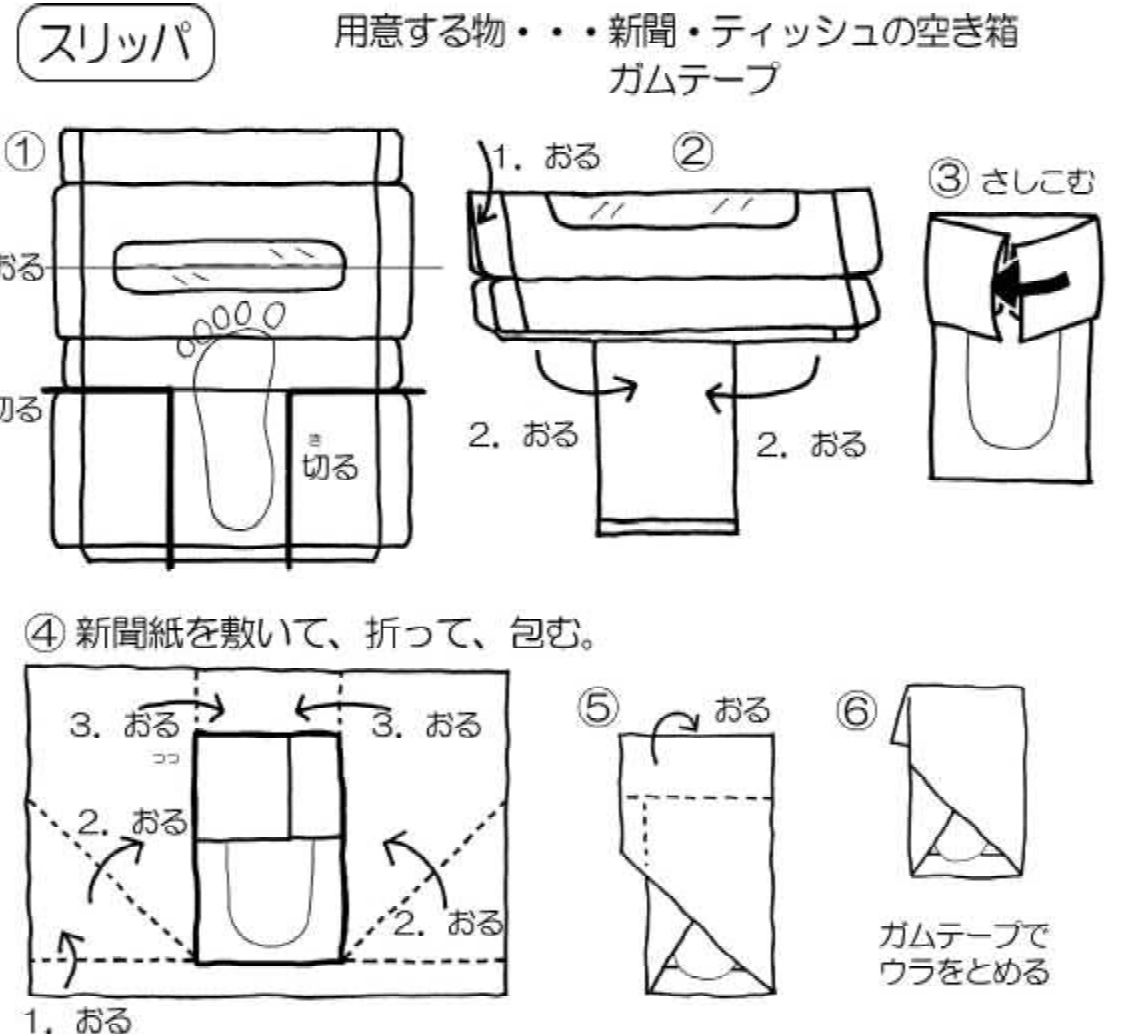
企画実行での学びの深さと、応援下さる方の存在のありがたさを改めて思い知った、しろくまプロジェクトの5年間であります。皆さま、ありがとうございました。

《S》

作ってみよう！ 防災グッズ

災害時に役に立つ防災グッズ。おうちにあるもので、簡単な防災グッズを作ってみませんか。

被災経験のある方に困ったことをたずねると、くつがどこにあるのかわからなかった、との声が多かったそうです。そこで、まずは、ガラスの破片や瓦礫素足を守るスリッパの作り方を紹介します。ちょっと気にする、そして知ろうとすることが防災の第一歩ともいえます。どうぞ、お試しください。



※とっさの時にはくつしたの底に厚紙を敷くだけでも足を守る効果があるそうです。

もっと詳しく知りたい方は、とんとん教室を受講ください。

知っ得！防災グッズの作り方 (6/8金) 10:30~12:00

リーパスプラザ古賀交流館302 参加費300円 非常食の試食つき
Tel 092-944-6450 火曜~土曜 9:00~17:00

ぼらんず (毎月のボランティア清掃は、ホームページのスケジュールに掲載)



6月12日(火) 9:30~ エコロの森周辺でごみ拾います。

雨天中止

詳しくはお問合せください。



未来を創ろうインタビュー

No.61 彫刻家 アジア現代彫刻会会員 福岡県美術協会彫刻部会員

山本 隆明 氏

福津市在住の鉄の彫刻家山本隆明さんに、「津屋崎現代美術展」で作品を見せていただきながら、お話しを伺いました。エコロの森の小学生対象に開催している夏休み教室で「えんぴつときぎ名人！」教室の講師を何度かお願いしてご縁があります。

山本さんは、福岡県を中心にアジアで作品を発表されていらしゃいます。拝見した作品は、鉄を使っているのに柔らかさや伸びを感じることができるものでした。20～30代の約10年間、小、中、高校で教員をされた経験から、美術には心が折れた時に立て直す力があると感じておられるとのことでした。ご自分のやりたい事をずっと追求してこられ、年を重ねた今は生きたい方向が見えていてとても楽になったそうです。

Q. 未来のために、今、何が重要だと考えですか

A. 与えられた答えではなく、自分で考え体験することの積み重ねが未来を変えていくことにつながるのではないのでしょうか。コツコツ積み重ねる事。一気に逆転することは無理です。

Q. そのためにご自身が暮らしの中で心がけていることがあれば聞かせてください。

A. 日常生活の中でも考える癖をつけておくことがコツ。力を抜いてしれっと頑張る。技術や方法は習う事ができるが、その先は自分で決めていくことが大事。



未来を創る私の思い

いまできる小さな事を1つ1つやっっていけば
未来は少しかわるかもしれません

「津屋崎現代美術展」の会場「玉乃井」は、築100年を超える旅館だった趣のある建物です。その古い館で4人の作家さんの作品に触れ山本さんのお話しを伺うと、表現に正解も不正解もないのだと感じました。

山本さんの作品は毎年秋に開催される福岡県美術展覧会（県展）に出品されます。

《Yっち》

未来を創ろうインタビュー

No.62 古賀市在住

伊藤 綾 氏

今年度からエコロの森 再生・展示棟のスタッフとしてデビューした伊藤さんにお話を伺いました。

伊藤さんは、筑紫女学園大学在学中にバングラデシュに行ったり、古賀市子ども体験広場でのボランティア活動を通じて、ボランティアに関心を持つようになったそうです。大学を卒業した後、引き続き「子ども体験広場」で1年間臨時職員として関わり、その後、古賀市市民活動支援センター「つながりひろば」で地域のボランティア団体さんの活動支援に携わってこられました。

エコけんとの関わりは、学生時代に「かえっこ」にボランティアでお手伝いしてもらったのが始まりです。昨年、古賀市の4か所の壁画を塗り替えた「ぬりつなぎ計画」にも参加していただきました。



Q. 未来のために、今、何が重要だとお考えですか

A. 子ども達に、人との関わり大切さを伝える事。いろんな人と関わりで、大人も子どもも成長するのは。

Q. そのために暮らしの中で心がけていることがあれば教えてください。

A. 自分がやっている事を人に伝えるようにしている。同じ世代の人に伝えたいが、思いを伝えるのは難しいところです。

未来を創る私の思い

自分自身がこれから学んでいく事を、
世代を問わずいろんな人に伝えていきたい。

「大学時代からいろんな人との出会いとつながりで今の自分がある。」エコロの森で、また自分の幅が広がる事とこれからの出会いとつながりを楽しみにしている伊藤さんでした。

《Pっぱー》

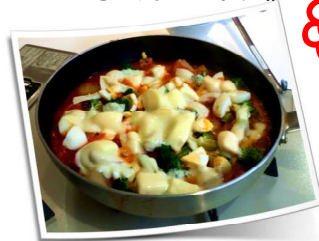
食ロス削減講座メニューに挑戦しよう

エコけんは、29年度、福岡県の委託を受け「食品ロス削減研修会」を県内4か所で実施しました。その中から人気のメニューを紹介します。

肉じゃがトマト煮込み 《食べ残した肉じゃがをおいしくリメイク》

【材料（2人分）】

- A 肉じゃが（100g）ブロッコリー（1/4個）
ウインナ（2本）トマト缶（1/2缶）
B ゆで卵（1個）ピザ用チーズ



【作り方】

- ①フライパンにAを入れ、蓋をして、中火から弱火にして10分ほど煮込む。
- ②火が通ったらBをのせて、蓋をして蒸らし、チーズがとろけたらできあがり。



※トマトは「うまみ成分」である「グルタミン酸」「アスパラギン酸」の宝庫。
和風の料理にも合います。



そのほか、エコけんホームページで「福岡県食品ロス削減レシピコンテスト」入賞作品の再現動画をアップしていますので、ぜひ、のぞいてみてください。

要予約

「夏休み親子リサイクル探検隊」 隊員募集！

福岡県の「子ども3R学習事業」を受託しました。小4～6年生と保護者を対象に楽しく3Rを学ぶバスツアーです。夏休みの自由研究にいかがですか。



▲九州大学

見てもようコース 7月26日（木） 申込締切：7月11日

①九州大学

小型家電に含まれるレアメタル再資源化
鉱物の顕微鏡観察

②マルタイ福岡工場

麺製造工場の見学
福岡県食品ロス削減レシピ「おかずみそ」試食

やってみようコース 8月8日（水） 申込締切：7月24日

①イオンモール福津

バックヤード見学と3Rの取り組み
食品ロス削減の取り組み

②エコロの森（古賀清掃工場）

清掃工場バックヤードツアー
食品ロス削減スイーツづくり



※詳しくは、エコけんにお尋ねください。



認定NPO法人

エコけん

〒811-3101 福岡県古賀市天神1丁目19-21
[TEL/FAX] 092-944-6450
[mail] ecoken@npo-ecoken.sakura.ne.jp
[HP] <http://www.npo-ecoken.sakura.ne.jp/>



ecoken